

お客様とキタムラをつなぐコミュニケーション情報誌

カメラのキタムラ カメラ・ビデオのビッグチェーン
〒222 横浜市港北区新横浜2-4-1
☎045-476-0777

カメラの
キタムラ®

平成8年6月1日発行
季刊第17号

写友王

Vol.17
SUMMER

特集
雄佳

雄大な自然が育む、
雄壮な心と文化

高田誠三氏インタビュー

.....
完全保存版 フィルター特集

乗鞍山頂の山小屋泊り。翌朝はガスで遠景が見えず。あきらめて下山途中、瞬時に晴れて雲上にさんさんと太陽が輝く。山の天気は急変する。
■カメラ：リンホフデビニカ レンズ：ニッコールSW150mm 絞り：f16 シャッタースピード：1/125秒 フィルム：フジクローム50D 三脚使用 撮影地：長野県乗鞍岳（撮影）高田誠三氏





海は地球の水鏡、いろいろなものを反映する。空の青さ、太陽の輝き、波の動きでそれらは変化する。米島の灯台は画竜点睛、人間生活との関わりを示す。
■カメラ：リンホフテヒニカ レンズ：ニッコールM450mm 絞り：f11
シャッタースピード：1/250 秒 フィルム：フジクローム50D 三脚使用
撮影地：三重県志摩（撮影）高田誠三氏

特集 雄大な自然が育む、雄壮な心と文化

高田誠三氏インタビュー 日本夏の雄々しさを、人と自然に追い求める。.....2

高田誠三先生が撮影した「日本の祭の“雄”」.....8

完全保存版 フィルター特集19



日本で子育てをする数少ないカモの仲間オシドリ。美しい自然のなかで美しい鳥を見ることは、それだけで心がなごむ。
■カメラ：キヤノンEOS1nHS レンズ：80~200mmF2.8L 絞り：F5.6 シャッタースピード：1/125 フィルム：RDPII
撮影地：上高地（オシドリ）（撮影）和田剛一氏

連載記事	知って得する写真おもしろ話⑨ ツアイスの優れた製品はチームワークから生まれた。.....11
	THE フォトワールド⑤ 「鳥」を撮る 和田剛一氏インタビュー12
	メーカー歴史探訪④ コンタックス(京セラ)編14
	フォトライフ ステップアップレッスン⑤ プリントを知って、効果的な作品創りを.....16
	読者のページ 写友缶ふれあい広場.....24 プレゼントが当たる! クロスワードパズル24 編集後記.....24

ドレスのように、イクシを着よう。



いよいよキヤノンから、新システム対応《イクシ》誕生。

カードサイズ メタリック・デザイン アドバンスドフォトシステム イクシは、IX240カメラというジャンルの、まったく新しい超コンパクトカメラです。アクセサリ感覚で、いつも身につけていられるから、いままて以上に、素敵な思い出にレンズを向けられます。ドレス、スーツからジーンズまで、どんなファッションにも、どんなシーンにも、センスよくフィットする イクシは、あなたとカメラの関係を大きく変えてしまいます。

- ◎特殊合金・SUS316の世界最小ボディ
 - ◎カートリッジフィルムでワンタッチ装填
 - ◎高画質24-48mm 2倍ズームを搭載
 - ◎自由に選べる3タイプのプリントサイズ
 - ◎そのほかにも、充実の高機能を搭載 ※'96年3月1日現在、ズームレンズ搭載カメラの中で
- ※2 35ミリ判カメラ換算で30-60mm *カメラについているチェーンは撮影用で非売品です
カタログのご請求は、〒108-11 東京都港区三田3-12-15 東急三田ビル
キヤノン販売株式会社 写友缶-IXY係まで、ハガキでお申し込みください。キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社



カードサイズカメラ
Canon
IXY
メーカー希望小売価格 48,000円
(リモコン・ケース付き、税別)



特集 雄大

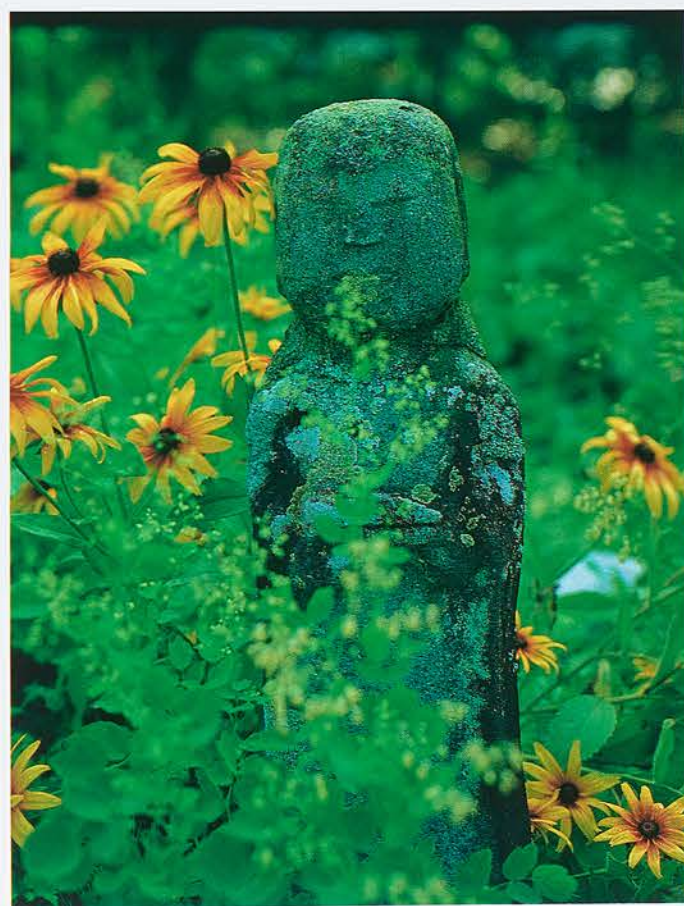
雄大な自然が育む、雄壮な心と文化



白樺の幹は白の旋律。音楽的リズムがある、写真的被写体。この地は斜面に群生しているので、より構図にうまく収まる。
 ■カメラ：トヨフィールド8×10 レンズ：ニッコールW240mm 絞リ：f32 シャッタースピード：1/15秒 フィルム：フジクローム50D 三脚使用 撮影地：長野県八千穂高原



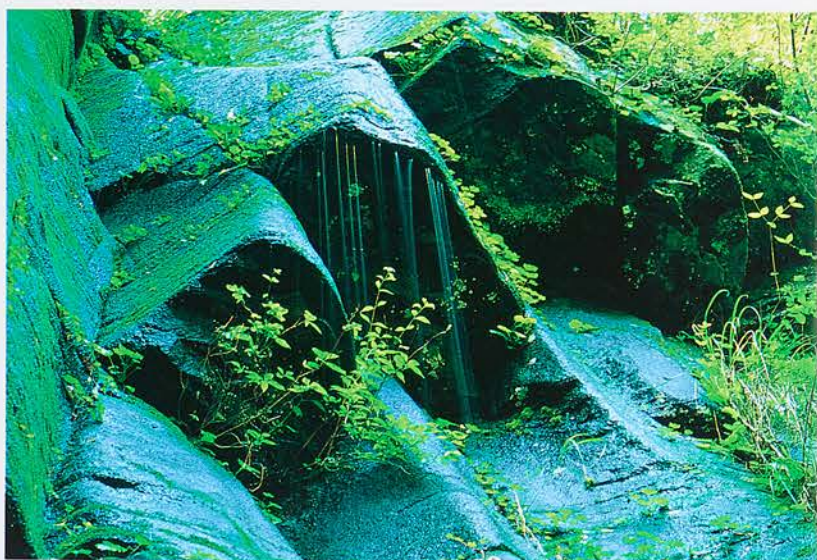
写真撮影は朝にあり。尾瀬は湿原、モヤがたなびく。早く写さないと消えてしまう。風景写真には決定的な瞬間がある。
 ■カメラ：トヨフィールド8×10 レンズ：ニッコールW240mm 絞リ：f45 シャッタースピード：1/4秒 フィルム：フジクローム50D 三脚使用 撮影地：群馬県尾瀬ヶ原



信州塩の道「可憐な野仏に出会う。花に囲まれた姿に心がなごむ。旅の情緒は全体よりも部分にある。合掌」
 ■カメラ：リンホフテビニカ レンズ：ニッコールW240mm 絞リ：f18 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：フジクローム50D 三脚使用 撮影地：長野県青木湖畔



この島は野鳥の生息地。海上を、岩の間を乱舞する。海をバックにしたデザインの配置美。逆光の輝きは偏光フィルターで加減する。
 ■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF28~80mmF2.8~4L 絞リ：オート シャッタースピード：1/250秒 フィルム：ペルビア PLフィルター使用 撮影地：北海道天売島



赤目四十八滝といわれて多彩な姿がある。この雨降りの滝は岩片からしたたり落ちる。滝岩、草の共演の姿。
 ■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80~200mmF2.8L 絞リ：f16 AE フィルム：ペルビア 三脚使用 撮影地：奈良県赤目溪谷

日本文化を歴史的にたどってみると、平安時代のように雅やかで女性的な一面がうかがえる。一方で、鎌倉時代の武家文化のように、勇ましく男性的な文化の流れを見いだすことができます。さらに古い時代へとさかのぼっていくと、スサノオやヤマトケルの日本神話や、また歌集では女性的な「古今和歌集」の対極にある、男性的な「万葉集」の歌などに、こうした「雄々しさ」の文化を感じ取ることができるでしょう。

現在も伝統的に受け継がれている風俗・行事に目を向けてみた時、この「雄々しさ」への美意識が、最も端的に現れているものといえ、何といっても夏の祭でしょう。同じ祭でも春や秋のものは、比較的のんびりとした、あるいはおごやかなムードで行なわれるものが多いのですが、夏祭には荒々しく雄壮に行なわれるというイメージがあります。威勢のいい神輿の掛け声が、東京に夏を告げる「三社祭」や、武者絵を描いたねぶたが壮観な青森の「ねぶた祭」、また勇ましい締め込み姿の博多っ子が飾り山を曳く「博多祇園山笠」などは、夏の雄々しさを象徴するものといえます。

さらに風景においても、雄大な自然景観の中に、私たちは夏らしさをより強く感じることができません。昔の人が、「山は神が舞い降りる地」と信じた山岳信仰からもわかるように、眼前に雄々しくそびえ立つ夏山には、我々人間が近寄りたがたい、大きな力を感じずにはいられません。また、海では荒々しく打ちつける土用の高波、空に目をやれば雄大雲とも呼ばれる入道雲が厚くたちこめ、大粒の激しい雨を降らす夕立ちなど、夏の自然現象は、男性的なエネルギーに満ちあふれています。

自然のもつ雄大さが、人々の心に「雄」の美意識を育み、長い年月の間に雄大な生活文化をも生み出してきたことを、私たちは夏の到来とともに、あらためて実感させられることでしょう。

特集 雄

日本の夏の雄々しさを、人と自然に追い求める。

高田誠三 <写真家>

雄大にそびえ立つ夏山、そして雄壮に行なわれる夏祭など、夏という季節は自然も生活文化も雄々しく開放的なイメージにあふれています。写真家として、風景と伝統文化の両面から「日本の美」を取り続けている高田誠三氏に、ご自身の作品作りにおける「雄」について語っていただきました。

※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて高田氏の作品です。

たかだ せいそう
1928年大阪府生まれ。大阪府立大学卒業。大阪芸術大学教授、全日本写真連盟理事、日本写真家協会会員、浪華写真倶楽部会員。著書：写真集『彩々流転』（日本写真企画）。

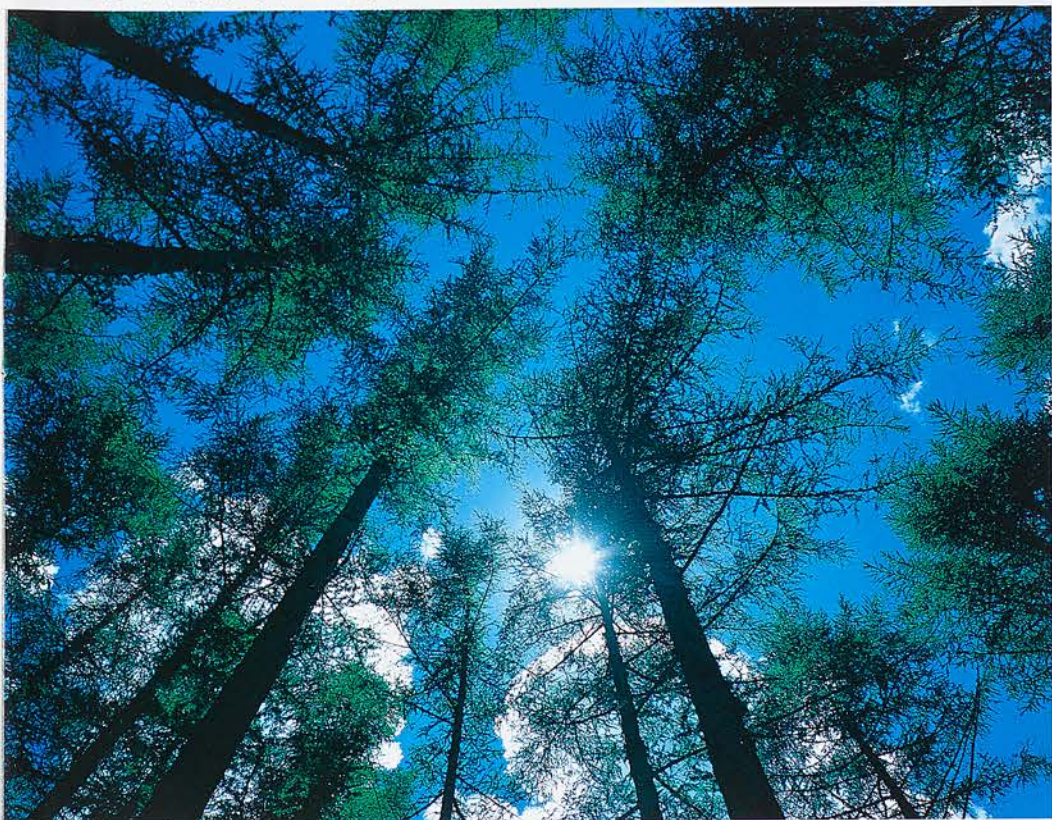


冬とでは空気感も違うし、写真を撮る者の気持ちもおのずと違ってきます。冬の場合ほどちらかという、自然風景もひっそりと息を殺しているような感じで、カメラマンはそれを敏感に発見するまなざしというのが必要になってくるんですが、夏の場合は風景の方から、こちらに強くアピールしてくるような感じがしますね。まぶしい太陽が照りつけば、開放的な気分になり、鮮やかな花が咲いていれば、「ああ、きれいだな」と誰でもが自然に感じさせられてしまう。そういう撮る側の

気持ちも作品にも反映するんですよ。だから夏の風景を撮るなら、その空気感をそのまま写真にしようと心がけることで夏のイメージを表現する、これが最大のポイントだと思います。

夏ならではの開放感が、雄大な祭へとつながっていく。

夏はこのように、自然の開放感、大地の生命感にあふれ、植物にしても動物にしても、それぞれが命の輝きを持っていますよね。こ



歩きながらの被写体探し。前方・眼高位置からの撮影が多い。上を向いて歩くと思わぬ発見がある。カラマツの生命力、太陽の賛歌。
■カメラ：リンホフテヒニカ レンズ：ニッコールSW150mm 絞り：f22 シャッター速度：1/60秒 フィルム：フジクローム50D 三脚使用 撮影地：長野県上高地

夏の風景の空気感はその作品に反映される。

日本の風景は、雄大さに加えて繊細さを持っている点で、外国の風景にはない素晴らしさがありますね。雄大な自然というと、カナダの山脈などを思い浮かべる方が多いんですが、私自身の考えとしては、これらはあまりにも景色としてうまく出来上がり過ぎていて、写真家としてはこれ以上表現する余地がないんですよ。そのままボンと撮ったら終わりという感じですよ。

その点、同じ雄大な山でも、我が国にはもっと繊細微妙な趣を持った所がいろいろありますよ。特に私が好きな信州の穂高連峰あたりは、最も雄大さを感じますね。中でも槍ヶ岳などは、どの方向から見ても、実に雄々しくそびえています。そして山の風景は常に変化していて、雲が乱れ飛ぶ間から山頂がそそり立つような、素晴らしい一瞬がとても魅力的ですね。一口に風景を撮るといっても、やはり夏と

富士の雪解け水。白糸滝は落ちる姿が美しい。樹の葉の緑とよく合う。流れる水はシャッタースピードが大事。1/60秒付近を目安に、数種写しておくこと。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80~200mmF2.8L 絞り：オート シャッタースピード：1/30秒 フィルム：ベルビア 三脚使用 撮影地：静岡県白糸滝



うした素晴らしい自然を追い求めることに、写真家である我々も喜びを感じます。そして自然環境自体が開放的で雄々しく感じられるからこそ、人々の心にもそれが伝わって、雄大な夏祭のような文化も生まれるのではないのでしょうか。例えば「天神祭」にしても「ねぶた祭」にしても、圧倒されそうな迫力とエネルギーが溢れる躍動感がありますよね。これは鳥がさえずると同じように、人間もひとつの生物として、自然の動きに合わせて生命活動を行なっていることの現れのように思えます。

写真を撮る上でも、こうした雄大な祭というのは、絶対のモチーフとなります。夏祭を

撮る際のポイントは、その華やかさとともに、流れや動き、つまり流動感をいかにうまく出すかということですね。少しシャッタースピードを遅くして、ちよつとブレる感じを出すだけでも、作品を見る人に祭の躍動感・臨場感を伝えることができるんですよ。

雄大さを写真で表現するには、構図が重要なポイント。

また、風景写真の雄々しき、雄大さを表現したい場合の技術的なポイントといえば、「空間処理」、つまり構図があげられます。風景をモチーフにしても、色彩や形などはつきりと目に見えるものを強調したい時は、それをしっかりとファインダーの中にとらえればいいんです。ただしテーマが風景の中の雄大さであったり、夏の暑さとか風の感じとかを表現したかったら、そのための空間を、構図の中に作らなくてはなりません。特にアマチュアの方は、そういう目に見えない要素を画面構成の中に入れるということを、なおざりにしがちですね。最近AFカメラが多いので、ピント合わせなどは皆しかりしているんですが、写真における「間」の存在を忘れている人が多いようです。実際の風景が持っている雄大さが、うまく写真で表現しきれていないことが、往々にしてあるんですよ。私が写真を教えている大学で、アメリカからある写真家を招いた時、「日本には日本画という素晴らしい構図のお手本があるのに、



九州の海岸は溶岩の流れか。波状岩となり特異な風景。所々に岩片があり、歳月により侵食され、抽象彫刻となっている。
■カメラ：キヤノンEOS iN レンズ：EF70-200mmF2.8L 絞り：f16 AEフィルム：ベルビア PLフィルム：三脚使用 撮影地：宮崎県日南海岸

写真を撮る人達は、なぜそれを真似しないのか」と指摘されたんです。確かに日本画家の方々は、皆さん構図というものを考えに考え抜いて描かれていると思うんですよ。写真の場合は、手早く撮ろうと思えば一瞬で終わらせてしまつこともできますよね。しかしそこで労力を惜しんだら、日本画には勝てないんですよ。写真家も日本画家と同じように、良いモチーフを探し、良い構図を探すことに全精力を注ぎ込まなければいけないと思うんですよ。同じ風景を撮るにしても、もう一歩踏み込んで努力する姿勢を持つかどうかで、その



合掌集落の白川郷。荻町は世界文化遺産に登録された。山頂より眺めると「日本のふるさと」的風景。大切に守り、保存しなくてはならない。
■カメラ：リンホフテヒニカ レンズ：ニッコールM450mm 絞り：f22 シャッタースピード：1/15秒 フィルム：フジクローム50D 三脚使用 撮影地：岐阜県白川郷

厳しい自然に耐えた者には美しさがある。上高地の白樺の肌にその証しを見た。抽象模様、何かに似ている。想像させる夢がある。

■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：マクロEF100mmF2.8 絞り：f16 AE フィルム：ベルビア 三脚使用 撮影地：長野県上高地



と、風景の雄大さがあり出ている点が多いので、こうした点に注意することがとても大切です。私自身、雄大な作品を撮るために、今年の夏もいい被写体がある

なく、まず肉眼で被写体を観察し、いい角度や位置を探しなさいということも、アマチュアの方によく言っています。先にファインダーを見ると、目頃の視覚と違った映像というだけで何でもよく見えてしまい、満足してしまふんです。実際に写真が出来るようになってみる



花の咲かない翌年は満開、種属保存の自然の条理。昨年はアケボノツツジが最高の装いであった。予想以上の出会い、写真家冥利に尽きるひとときだ。■カメラ：キヤノンEOS-1N レンズ：EF70-200mmF2.8L 絞り：f8 AE フィルム：ベルビア 三脚使用 撮影地：奈良県大台ヶ原

所へは、劣を惜しまず積極的に行くことを考えています。厳しい暑さが、最も夏らしい風景を提供してくれる沖繩へ、そして長年撮り続けている信州の上高地へと出かけ、日本の夏の雄大さを撮ることに、挑み続けたいと思っています。

画家のようなモチーフに対するこだわりと努力が、写真を撮る上でも必要である。

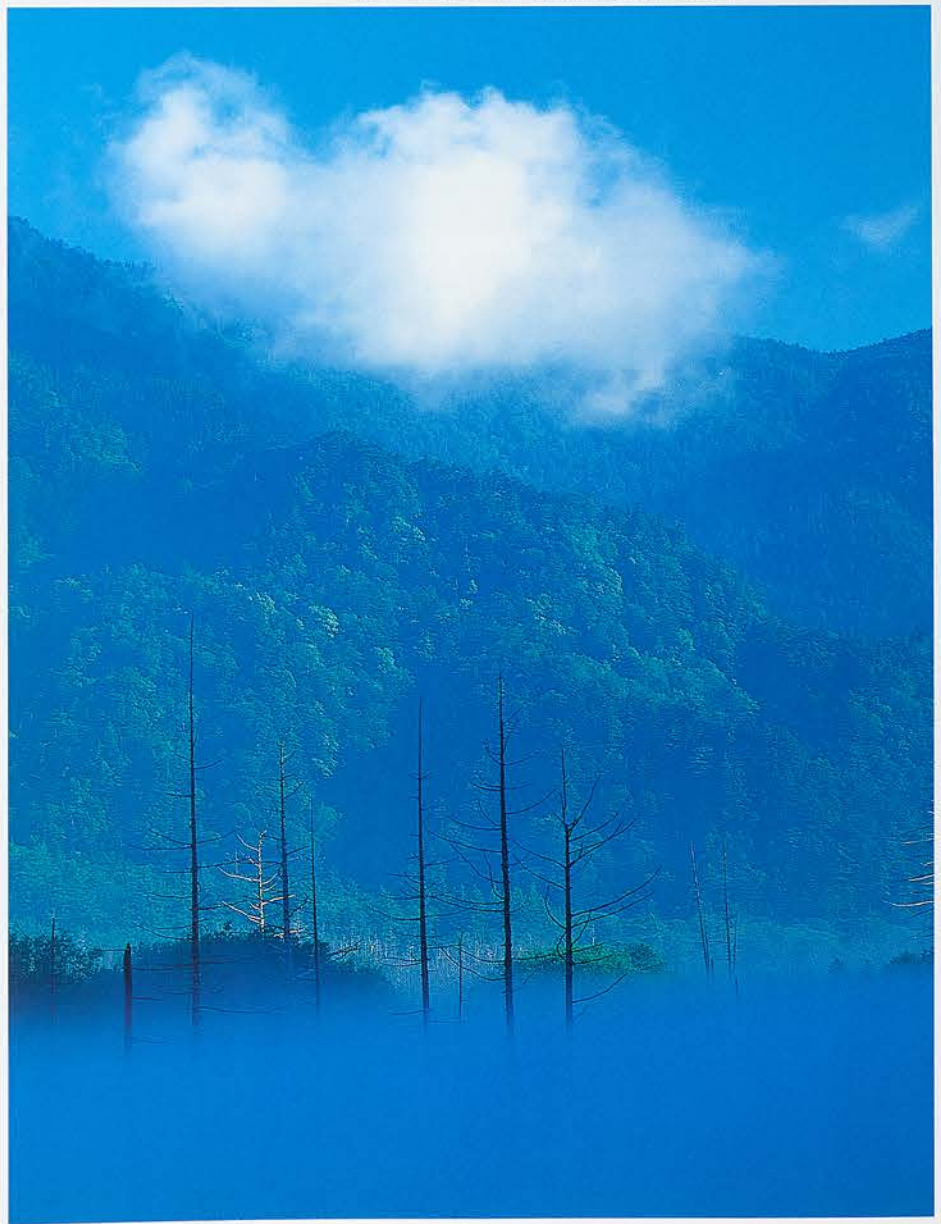
信州は空気が澄んでいるので草花の色が美しい。民家の庭に咲いていたルピナス。カメラアングルを下げることで屋根との対比が生き、雰囲気が出た。

■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80~200mmF2.8L 絞り：f8 AE フィルム：ベルビア 三脚使用 撮影地：長野県青木湖付近



雄大さを十分に表現できるか否かが決まるんです。だから「絵画的に写真を撮る」という感覚を、アマチュアの皆さんにも大いに持ってもらいたいと思います。私も被写体によって「これは日本画のように撮ろう」「これは洋画タッチの作品に仕上げよう」といったことを、いつも意識しながら撮っているんです。そして絵画に負けないだけの素晴らしい写真を撮ってやろうと、常に思っています。だからそのためには、目頃から様々な絵画を鑑賞するといったことも、写真を撮影する上で大きなプラスとなるんです。画家の方のお話を聞くと、我々写真家はまだまだ安易だと思える点がたくさんありますね。実際、彼らの作品作りに対する発想や思考というのはすごいもので、場合によっては一週間くらいかけて、構図をどうするか考えたりすることもあるそう

大正池は神秘的な雰囲気漂う。早朝、静寂の世界、浮き雲が静かに流れる。風景において雲の存在は大きく、構図上、大きな役割を演じる。■カメラ：リソフテヒニカ レンズ：ニッコールW240mm 絞り：f16 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：フジクローム50D 三脚使用 撮影地：長野県上高地大正池

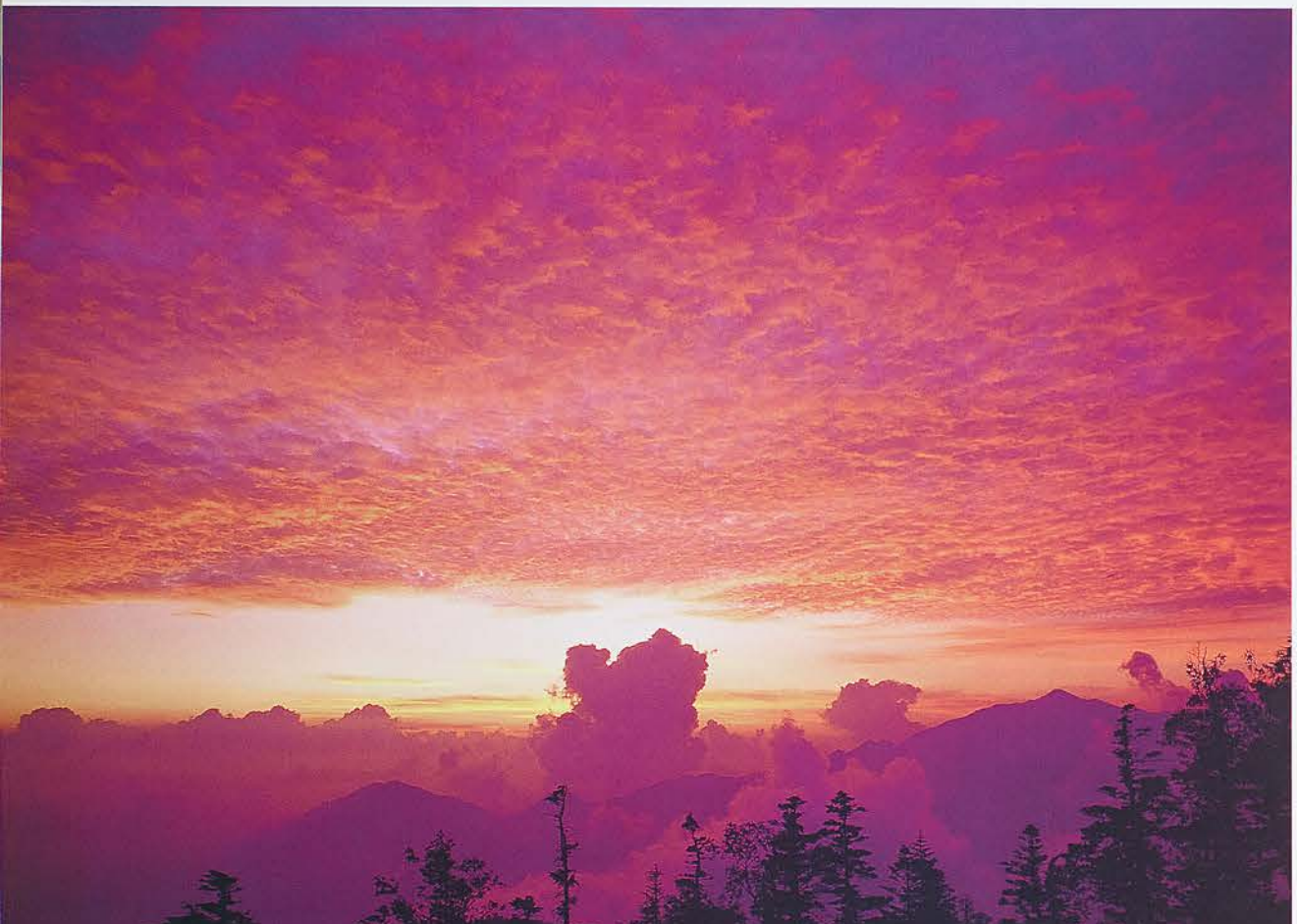


肉眼で感じた雄大さを、作品にするのはカメラ・アイである。風景の雄大さを見る人に伝えたいなら、まず撮る人自身がそれを感じなくてはいけません。雄大さを肌で感じないことにはそれを表現できない、そして良い構図を作れないということなんです。ただし写真になった時には、

肉眼で見た時の立体感はなく平面的になつてしましますから、その雄大さを四角い枠の中で表現するということは、非常に難しいことなんです。だからなおのこと、構図というのは慎重に検討すべきなんです。このように、「肉眼で感じたものが平面的な写真になった時のことを考えながら撮る」、それがアマチュアの方々が忘れがちな「カメラ・アイ」というものなんです。構図以外にも、大切なカメラ・アイというものはいろいろあります。シャッタースピード、絞り、それから焦点距離、フィルムのラチュードなど、

注意すべきカメラ・アイがたくさんあるわけですよ。ですから優れた写真家は皆、それらを自分の体にたたきこんで、そして常にそれらを働かせて、良い被写体を発見しているんです。風景を眼で見た時は、周囲のものが全部視野に入るので雄大に感じられますけど、やっぱり写真の場合はその一部の切り取り、つまりフレーミングですから、感じた雄大さをその中にどう盛り込むか、言い換えれば肉眼の視覚とカメラ・アイとの合致が大切なんです。ただし、いきなりファインダーを覗くのでは

夕焼けは二度ある。入り陽の時と、太陽が沈んで十分ぐらいいて焼ける小焼けである。夕焼け小焼けで日が暮れて...童謡が教えてくれている。■カメラ：リソフテヒニカ レンズ：ニッコールSW90mm 絞り：f22 シャッタースピード：1/4秒 フィルム：エクタクローム64 三脚使用 撮影地：長野県北アルプス西穂高



雄^{ゆう}

特集

高田誠三先生が撮影した「日本の祭の雄」

日本の夏は、地方色豊かな祭や行事が盛りだくさん。写真の撮影にもいちだんと力が入ります。そこで今回は、特集ページで雄大な風景写真を紹介させていただいた写真家・高田誠三氏に、もうひとつの「夏の雄」である雄大な祭や各地で行なわれる行事の数々を、ご自身の作品で紹介していただきました。



◎高岡御車山祭
(富山県高岡市／5月1日)
大きな山車が出る祭は日本の伝統。高岡の祭も絢爛豪華。車輪と祭の人々にその片鱗を見た。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80～200mmF2.8L 絞り：f8 シャッタースピード：1/30秒 フィルム：ベルビア



◎阿波踊り
(徳島市／8月12日～15日)
夏祭はエネルギーの発散。阿波踊りは白眉、提灯が揺れる。人が動く、着物が模様を描く、それらがリズムに乗って調和する。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80～200mmF2.8L 絞り：f8 シャッタースピード：1/30秒 フィルム：プロビア



◎ペーロン
(沖縄各地／5月～6月)
ペーロンは競艇の元祖。鐘や太鼓のリズムに乗って、たくましい人間の動き。この絵巻は瞬間、それだけに魅力的。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80～200mmF2.8L 絞り：f8 シャッタースピード：1/250秒 フィルム：ベルビア



◎天神祭
(大阪市・天満宮／7月24日～25日)
花火と紋所のある提灯に祭を凝集した。このふたつから祭の雰囲気想像を誘発。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80～200mmF2.8L 絞り：f8 シャッタースピード：1秒 フィルム：ベルビア 三脚使用



◎祇園祭
(京都市／7月1日～29日)
京都祇園祭は祭の華。灯る提灯、見物の人々、リズム、リズム……。多重露出によってその感を強調、リアルに見えて心象の世界。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80～200mmF2.8L 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/15秒3回 フィルム：ベルビア 三脚使用



◎千灯供養
(大阪市・四天王寺／8月9日～16日)
千灯供養は先祖の霊をなくさめるもの。多くの灯が揺らぐ。仏さんが見守っている。この光景に人は心の安らぎを感じる。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80～200mmF2.8L 絞り：f8 シャッタースピード：1/8秒 フィルム：プロビア 三脚使用



◎天神祭
(大阪市・天満宮／7月24日～25日)
日本三大祭のひとつ、天神祭はやはり雄壮だ。神輿を挙げた瞬間がクライマックス。力こもった手のリズムに祭の象徴がある。
■カメラ：キヤノンEOS-1 レンズ：EF80～200mmF2.8L 絞り：f8 オート シャッタースピード：1/125秒 フィルム：プロビア



第3回チビッコ写真コンテスト
最優秀グランプリ作品
「凝視」 嶋本一生活

カメラのキタムラ
**第4回チビッコ
写真コンテスト**
作品募集のお知らせ

カメラのキタムラが主催するチビッコ写真コンテストも、おかげさまで今年の夏で第4回を迎えます。

お子様だけ、お子様と家族、お子様と動物など、お子様が写っているものならなんでも応募いただけます。あなたもこの夏、この機会にお子様の最高の表情を狙ってみませんか？

詳しくは7月中旬よりカメラのキタムラ各店で配布されるポスターまたは応募用紙をご覧ください。

ツァイスの優れた製品は チームワークから生まれた。

日本のカメラメーカーは今でこそ世界のトップクラスの位置にいますが、当初は開発から製造まで、技術面の大半を海外のカメラメーカーに依存していました。その代表がカール・ツァイスであり、ライカであり、ローライでした。

特に小型カメラではライカとカール・ツァイス（以下、ツァイスと呼称）の影響は多大なものがありました。この両者は過去に激しい開発・販売競争を展開していました。ツァイスは顕微鏡や望遠鏡の製造・販売で培った技術をもとに、カメラのレンズの製造に乗り出してはいたものの、小型カメラについてはライカに先発の利があり、ツァイスは追う立場にありました。このためツァイスはライカと異なる独自の路線を創造しようと模索を続けていました。こうした競争が、小型カメラの品質を飛躍的に高めたのです。

このライカとツァイスの競争は、ドイツにカメラの黄金時代を形成しましたが、ライカはオスカー・バルナック個人の優れた発想から開発がなされ、ツァイスは開発チームが組まれて、複数の発想によって共同で開発されました。この協調性を重視するというツァイスの特徴は、エルンスト・アッペという人物によって企業思想にまで昇華されたのです。

カール・ツァイスというのは会社創業者の名前をとったものですが、創業当初にカール・ツァイスとともに共同経営にあたったのがエルンスト・アッペです。アッペはツァイス生存の当時から、「会社が発展してきたのは全従業員の協力のたまものだ」と、よく話していたそうです。このアッペが1889年にカール・ツァイス財団を設立しました。

この財団は「会社の発展は社長や数人のリーダーの努力によって創られたものではない」という理念を掲げ、その当時としては世界に類のない社会保障制度を導入しようとした。昇進に門地や宗教の制限を加えず、労働時間は9時間（当時は14時間労働が普通でした）、有給休暇を設け、老後の年金保障を提唱しました。このようなアッペの考え方は当時の政府に拒否されましたが、アッペはひるむことなく、数年後に実現させています。アッペは今日の労働保障のベースを築く偉業をなしたのです。

アッペはカール・ツァイス財団を設立するにあたって、自分の財産権をすべて投げ出し、設立後は自ら給料生活者の道を選びました。経営者と労働者がそれぞれ自分だけの利潤を



Ernst Abbe
(1840-1905)



Carl Zeiss
(1816-1888)

ツァイス（右）とアッペ（左）。ツァイスの礎を築いた2人の銅像。



世界初といわれている35mm一眼レフカメラ「コンタックスS」。

知って得する写真おもしろ話⑨

Nikon

超かんたん・新システム対応コンパクトカメラ

ニュービス Nuvis



Nuvis 75i **新発売**
◎おしゃれなボディの30mm～60mm
2倍ズーム（リモコン・ケースストラップ付）
希望小売価格（税別）……………¥38,000

Nuvis 125i **6月発売予定** **Nuvis mini i** **新発売**
◎コンパクトなボディに30mm～100mm
迫力の3.3倍ズーム（リモコン・ケースストラップ付）
希望小売価格（税別）……………¥50,000
◎超小型・超軽量コンパクト
（ケースストラップ付）
希望小売価格（税別）……………¥30,000

■カタログをご用意しています。機種名を明記の上、100-91 東京中央郵便局私書箱1269号 株式会社ニコン お客様相談室宛ご請求ください。

株式会社 **ニコン** 本社 100 東京都千代田区丸の内3-2-3（富士ビル） 製品に関するお問い合わせは「お客様相談室」まで。電話（03）-3216-1010

ニヤンとも、
かんたん。



そろそろ「いい写真が撮りたい」という方に。

（コンパクトカメラ感覚で一眼レフの写真が撮れる。4倍ズーム一体型一眼レフ、オリンパスから。）



大光量フラッシュ搭載。4倍ズーム一眼。

新登場 **L-10
SUPER**

希望小売価格（税別）¥71,500（メーカー標準価格）
アクションケースC2付

OLYMPUS
（人から発想します。オリンパス）

離れていても大きく撮れる、
28～110mmの4倍ズーム。



4×ZOOM

かしく光る、
大光量ツインフラッシュ。

**High-Power
Twin Flash**



ワンタッチで一眼レフの写真が
撮れる、イメージセレクトボタン。

見たままがくっきり写る、
一眼レフファインダー。

雄大な風景がしっかり撮れる、
ワイド28mmレンズ。

「鳥」を撮る

何日も鳥を待ち続けることさえ、撮る者には喜びとなる。
和田剛一氏（写真家）

鳥という被写体は、一歩屋外に出てみればいたるところに棲息し、一年中見ることができ、最も身近なモチーフのひとつといえるだろう。今回お話を伺った和田剛一氏は、生まれ育った高知で、子供の頃からたくさんの鳥たちと慣れ親しんできたという。カメラマンとなつて東京に出てきた後も、やはり鳥のいる場所に惹かれるようになり、20年ほど前から写真に撮り続けている。和田氏の写真集を拝見すると、個性あふれる愛らしい鳥たちが、求愛をしたり、はたまた縄張り争いをしたりと、まるで我々人間と同じような、豊かな

表情と多様な行動で見る者を楽しませてくれる。「鳥の魅力は、まず姿が美しいこと、そして小さな体で一生懸命に生きていく生命感、それともうひとつは撮影するのが難しいことですね」と語る和田氏。最後の「撮影が難しいこと」を魅力とするところに、彼のプロとしての気込みが感じられるが、それだけ良い写真が撮れた時の喜びも大きいということだろう。

彼の場合、それほど被写体とする鳥の種類にはこだわらず、まず撮影に良さそうな場所を決めて出かけてゆき、そこで出会った鳥にカメラを向けるという。「ただし、その場所で『これは』と思う鳥を見つけたら、何日もシャッターチャンスは『待つ』つもりで腰を据えます」と和田氏。「普通の人から見ればバカバカしく思えるかも知れませんが、撮影者の私としては、納得がいくまで撮りたいんですよ」と、鳥を撮ることへの強い思い入れを語ってくれた。

基本的には餌付けなど演出的なことはせず、「自然のままの鳥を撮る」というのが和田氏の考え方だが、鳥を撮影するにはまず、その生態について最低限の知識は持つ必要があるだろう。自然の鳥の場合、たいてい春頃に卵がかえり、7月頃までが子育ての期間となる。



魚を捕らえたアカシヨウビン。くちばしの先から爪の先まで燃えるような赤い色をしている。自然の豊かな森の水辺に住んでいるが、そんな場所も少なくなった。

■カメラ：ニコンF4s レンズ：800mmF5.6 絞り：開放 シャッター速度：1/125 +1EV補正 フィルム：RVP 撮影地：北海道白老町（アカシヨウビン）



山深い溪流で餌を探すコマドリ。姿も声も美しい鳥だが、暗い原生林に住むために撮影は難しい。

■カメラ：キヤノンEOS1nHS レンズ：EF35mmF2 絞り：F11 シャッター速度：1/60秒 フィルム：RDPII リモコン使用 撮影地：八ヶ岳（コマドリ）

オオセグロカモメを捕らえて食べるシロハヤブサ。憧れの鳥が2羽一緒に見られるなんて、一生に一度のこと。チャンスを逃さないために、露出の補正などには気をつけておこう。

■カメラ：ニコンF4s レンズ：800mmF5.6 絞り：開放 シャッター速度：1/1000秒 フィルム：RDPII 撮影地：北海道砂原町（シロハヤブサ）



この時期の鳥を撮る際には、特に注意が必要だと和田氏は指摘する。「親鳥がヒナに食物を与えている姿などは微笑ましい光景ですが、そこで親鳥が逃げてしまふようなことをすると、もう東には帰ってこなくなつて、ヒナが死んでしまふんですね。だからそういう時は、すぐにそこから離れるようにしています」。また鳥には種類ごとに、これ以上人間が近づいたら逃げてしまふだろうと思われ目安として「警戒距離」というものがある。比較的小さな鳥では一般的にその距離は短く、大きな鳥になると、100mでも逃げってしまうものが多い。「小鳥は近づきやすいといつても、やはり鳥自体が小さいですから、なかなか大きくは写せないですよ。だから鳥の撮影で

ちに、鳥の方がだんだん慣れてくる場合もあるようだ。「冬の八ヶ岳で、十数羽のフクロウを撮り続けたことがあるんです。撮り始めの頃は200mも近づけなかつたんですが、次の年になると50m位まで迫つても平気なのが2羽ほどいたんですよ。カメラのシャッター音なども、最初のうちは警戒されることもありましたが、撮り始めると、すぐに慣れるようですね」と和田氏は語る。撮影者と鳥との間にある種のコミュニケーションが生まれるのであろうか。



餌を探すセグロセキレイ。セキレイのようになわばりを持つ鳥は、同じ所を行き来している。追い掛けるよりは待つて撮るほうが効率的だ。

■カメラ：キヤノンEOS1nHS レンズ：600mmF4 絞り：開放 シャッター速度：オート フィルム：RDPII 撮影地：多摩川（セグロセキレイ）



名残雪の中で愛を語るカワセミの恋人たち。カワセミは子育てが終わるとそれぞれ単独で暮らすようになる。雄、雌一緒に撮れるのは早春の頃に限られる。

■カメラ：キヤノンEOS1nHS レンズ：600mmF4 絞り：開放 シャッター速度：1/250秒 フィルム：RDPII 撮影地：東京都多摩川（カワセミ）



北海道の原生花園でさえずるノゴマ。草原の鳥たちは、草や花の頂きでさえずるため見つけやすいが、地上に巣を作る鳥が多いので、うかつに踏みこまないようにしよう。

■カメラ：ニコンF4s レンズ：800mmF5.6 絞り：開放 シャッター速度：1/125秒 フィルム：KR 撮影地：北海道霧多布（ノゴマ）

は、600mm以上の望遠レンズを基本にして「望遠レンズを基本にしています」。ただし「ずっと撮り続けているうっ」と満足いく写真が撮れたんです。ただし北海道の原生花園でさえずるノゴマ。草原の鳥たちは、草や花の頂きでさえずるため見つけやすいが、地上に巣を作る鳥が多いので、うかつに踏みこまないようにしよう。



わだ ごういち
1948年高知県生まれ。子供の頃より慣れ親しんだ鳥や獣の写真を20年ほど前より撮り始め、現在も車で全国を旅しながらの撮影活動を精力的に行なう。鳥たちの生活感や表情を大切にしたいスタイル写真のほか、ビデオ撮影も手がける。著書：写真絵本「もず」（童心社）、写真集「野鳥賛歌」「野鳥生活記」（以上小学館）、「Sing!Sing!Birds!」（山海堂）。



コンタックスRTS (1975年)
絞り優先AE一眼レフで、オート撮影時には
LT(約4秒)~1/2000秒まで無段階に変速する
電子式のフォーカルブレインシャッター
を採用。測光方式はTTL中央部重点測光。

CONTAX

メーカー歴史探訪④ コンタックス(京セラ)編

伝統を受け継いだ製品の中に、 今も生き続ける「作品主義」。

戦前から戦後のまだカメラが今よりもずっと高価なものであった時代、コンタックスといえばその中でも特に高級なドイツのブランドとして、オールドファンには憧れの名機でしたが、現在もその伝統は受け継がれています。今回は、コンタックスブランドの根強いファンのニーズに応えている、京セラのコンタックス担当部門を訪ねてみました。



コンタックスRTSIII (1990年)
コンタックスの35mm一眼レフでは最高機種。内・外
部ともに上質な素材を使用しているほか、バキュー
ム吸引式セラミック製のフィルム圧板を、35mmカメ
ラでは初めて採用。



コンタックスS2 (1992年)
機械制御式の金属幕縦走りシャッター
を使う中央部スポット測光のマニュアル機。巻き上げも巻き戻しも手動の、
純粋な高級35mmマニュアル一眼レフと
いう位置付けのカメラ。

国境を越えた共同事業で 復活を遂げたコンタックス。

一時は姿を消したドイツの名機・コンタックスが復活したのは、1949年に八州精機株式会社として発足した、後の(株)ヤシカとの共同開発によるものだ。往年のヤシカは日本のカメラメーカーの中でも、電子技術を応用したユニークな製品を作っていたが、そこにドイツのカール・ツァイス財団が注目したのである。同財団はツァイスレンズで知られる光学界の名門だが、そのグループ企業であるツァイス・イコン社は、1932年に名機

中の名機といわれるCONTAX I型を生み出していった。しかし戦後ドイツが東西分裂した混乱や、また日本製カメラの市場拡大などもあって徐々にカメラの製造を縮小、1972年には完全撤退するに至った。そこで優秀な日本のメーカーにカメラの製造を委託し、高い光学技術を誇る自社のレンズを活かそうと考えたのだ。ヤシカ側も、一流ブランド・コンタックスの製品が作れ、ツァイスのレンズを供給してもらえるのならと合意し、1974年より両社の技術提携が始まった。その後1983年に京セラ(株)と合併したヤシカはそのカメラ部門となり、今日に至っている。

ツァイスとヤシカが技術提携を始めた翌年に、初の日本製コンタックスボディとして発売された製品がコンタックスRTSだ。「RTSはリアル・タイム・システムの略で、二瞬一瞬を大切に切り取る」というのが製品コンセプトでした。被写体の瞬間的な動きに対応できる、極めて軽いシャッターのカメラだったんです」と語るのは、京セラ(株)コンタックス推進課の井川宗次主事。

また、根幹的な部分から電子回路を使用しただけで、当時としては画期的だった。ちなみにこの機種のボディデザインは、自動車でおなじみのホルシェが担当。それまでは直線



京セラ(株)コンタックス推進課責任者
井川宗次主事

的なボディが多かったカメラに、現在では主流となっている曲線的なフォルムを施した、当時としては斬新なデザインであった。ツァイスの光学技術、ヤシカの電子技術、そしてホルシェの先進的なデザインが融合した、歴史的な名機と言っているだろうか。

こうしてコンタックスは日本の地で復活を遂げ、新たな歴史を刻むことになる。名門ブランドを引き継いだヤシカは、その持てる技術をかかなく発揮。小型軽量化とクォーツによる時間制御を図った139クォーツ(1979年)、モータードライブ内蔵と、露出を絞り優先のAE専用にしたことで注目された137MDクォーツ(1980年)、そしてRTSに改良を加えたRTSII(1982年)と、新製品を次々に発表した。

AFが主流の時代に、 あえてMFにこだわり続ける。

その後、京セラに引き継がれ、今も根強いファンを獲得しているコンタックスだが、実はこのブランドにも、存続の危機ともいえる時期があった。それは80年代後半の、他社よりAF機が続々と出始めた頃のことである。



コンタックスG1 (1994年)
「レンズ交換式AFレンジファインダー」というユニークな
タイプ。一眼レフでは不可欠なミラーボックスを持たない
ボディ構造で、プロの使用にも耐え得る優れた画質を実現。



こうしたAF時代におけるコンセプトの確立に伴い、その後は新しい発想を加えた製品が続々と登場する。最近の機種ではまず、1

994年のRX。これは「人への優しさ」をテーマにしているが、シャッターを押すだけで撮れるといった「易しさ」ではなく、作品を創る上での、人の目・耳・手などへの「優しさ」、つまり人間工学が基本となっている。また、最もユニークな機種として注目されたのが、同じく1994年発売のG1だろう。これは「もって気軽にコンタックスに親しんでほしい」という考えから、「散歩しながら撮れる機動性・携帯性を備えたカメラ」として開発された。ただし形式は一眼レフではなく「レンジファインダー」という昔のタイプのカメラだ。なぜか、他社でもあまり見られないこのタイプの製品を出したのかという問いに井川氏は、「一眼レフだと、構造上大きくならざるを得ないんです。しかも高い描写力を得ようとした結果、この形に行き着きました」と答えてくれた。この製品もコンタックスらしい確固たる哲学と柔軟な発想から生まれたといえるが、結果としてG1は高く評価され、昨年のカメラグランプリを受賞した。

そしてコンタックスの最新機として今年発売されたのが、AF機能の付いたAX。「どうとう「作品主義」を唱えるコンタックスもAF機を出したか」と思われる方が多いかも知れないが、井川氏に伺ってみるとそれはちょっと違うようだ。

「AXはあくまでもMF機で、それにAF機能が付いたものだ」と我々は位置付けています。MF機能とAF機能がしっかりと両立し、撮影者の意志で選択できるところが、他のAF機と一番違うところなんです。何とこのカメラは、描写力を保つためと、今までツァイスレンズを使用しているユーザーのためにマウントは変更しないという考えから、レンズ側でなくフィルム設置面の方が移動するAF機能という、驚くべきシステムをとっている。これからもツァイスとのパートナーシップにおける「作品主義」の理念のもと、コンタックスは優れた製品で、ファンの期待に応えてくれるに違いない。



コンタックスAX (1996年)
コンタックスAX(1996年)
レンズを駆動させるのではなくフィルム面を移動させることで焦点を合わせるオートマテ
ック・バックフォーカシング・システムによ
り、マニュアルレンズによるAFを実現した。



コンタックスRX (1994年)
フォーカシングレターによりピントを合わせやすく、またカスタムファンクションにより撮影者に合わせた機能を構築できるようにした。シャッター作動音の静かさも特長。

プリントを知って、効果的な作品創りを

カメラやフィルムの選択には神経を使っても、プリントに対しては無関心な方は意外に多いようです。最近のプリントは技術的にも素材の面でも発達し、様々なプリントが選べるようになってきました。あらかじめプリントのサイズや種類を想定したうえで撮影にいくんでみれば、あるいは写真の新しい視点を見つけられるかもしれません。そこで今回のステップアップレッスンでは、プリントの種類とその特徴を紹介しましょう。

機械焼きと手焼き

大伸しプリントには機械焼きと手焼きの2種類があります。機械焼きの場合はワイド4切りサイズまではトリミングができない不自由さがありますが、比較的安価に仕上げることが出来ます。手焼きは機械焼きに比べると割高ですが、トリミングも自在で、プリントサイズもトリミングの比率に合わせて自由に指定することができます。

機械焼きでプリントしてみると、フィルム画面には写っているのですが、プリントには入っていない部分があります。これは「ケラレ」といって、フィルムのサイズが35mmの場合1.15である縦横の比率が、プリントのペーパーの比率と合っていないために起こります。このケラレを完全に避けるためには、現在のところでは、手焼きでプリントする以外

に対処方法はありませぬ。しかし、機械焼きでもプリントペーパーの縦横の比率が、少しでもフィルムの比率に近ければ、その分ケラレは少なくなります。サービサイズではEサイズよりもLサイズの方が、また6切りや4切りでもワイドタイプの方がケラレは少なくなります。

光沢、マット、シルク、ペーパーの色々

プリントペーパーの面質には光沢とマットとシルク(絹目)という3種類があるので、ペーパーそれぞれの特徴と写真の撮影目的を考慮して注文しましょう。光沢はどのような

写真①(上)は標準レンズで撮影。写真②(下)は写真①と同じシーンを、位置を後退してパノラマで撮影した。パノラマ独特の縦横の対比を充分に考慮した構図で撮影に挑みたい。



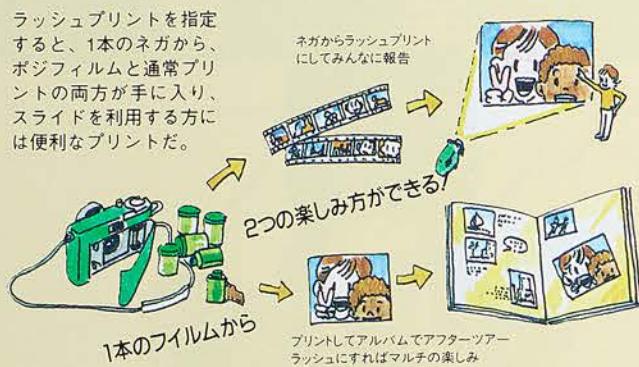
絵柄にも合いますが、マットやシルクは比較的、絵柄の彩度が沈む傾向にあります。特にシルクは表面の凹凸が深いことからかなり沈みますので、注意しましょう。こうした特徴を活かし、しつとりと落ちついた写真を仕上げたいときには、効果的です。

特殊なプリント

パノラマプリント 横長または縦長のプリントですから、この長さのメリットを充分に活用したいものです。パノラマ機構のついた一眼レフなら、かなり面白い写真ができるでしょう。

クリスタルプリント 一般のプリントよりも色と艶が鮮やかな超光沢プリントで、その名の通りクリスタルな印象があります。プリントペーパーの素材が樹脂系ですから、通常のペーパーよりも褪色が少なく、破れにくいように薄いため、作品の保存用に最適です。また、その光沢と発色のよさから、原色の強い作品や反射光を活かしたい作品、あるいは色がポイントとなる着物の写真のプリントなどには効果的です。

RP(ダイレクト)プリント スライドから



シールプリントは1枚のシートに、50×70mmのシールが2枚ついた「5×7」、40×50mmのシールが4枚ついた「4×5」、17×22mmのシールが20枚ついた「ミニミニ20」など、いくつ種類がある中から、好きなものを選ぶ。



様々な用途を持ったプリント

ポストカード 写真を使った葉書は普及していますが、多くの方はすでに撮影した写真の中から選んで注文しているようです。しかし、ポストカードは基本的にはトリミングができませんから、このような場合、物足りない絵

柄になることが多いので、できればポストカード用に、サイズや仕上がりを想定して撮影することを勧めます。

シールプリント 2枚ご存じの方も多いかと思いますが、ほとんどの場合は実際にプリントしたことがないのではないのでしょうか。裏面に接着剤が塗布されていますので、非常に応用範囲の広いプリントです。サイズは4種類あり、1シートに20枚あるタイプは1枚が17×22mmの大きさですから、名札に貼ったり、子どもの持ち物に貼って、名札代わりにするといった使い方もできます。

ジクソーパズル 単一のトーンでバックが広がる写真を使用すれば、パズルの難易度は上がりますし、メリハリのある写真を使用すればやさしいパズルを作ることができます。6切りか4切りサイズですから、インテリアと

パズルプリントは180×230mmの80ピース、230×280mmの140ピース、330×390mmの340ピースという3種の中から選ぶことができます。



して部屋に飾ることもできます。

カレンダー・テレカ・名刺 これらに使用する写真も、仕上がりを想定して撮影した方がよいのは言うまでもありません。特にカレンダーは飾るのが目的ですから、写真の基本を守り、余分な被写体を切ってスッキリとまとめるようにしましょう。

ラッシュプリントを指定すると、1本のネガから、ポジフィルムと通常プリントの両方が手に入り、スライドを利用する方は便利なプリントだ。

1本のフィルムから

2つの楽しみ方ができる!

プリントしてアルバムでアフターアールッシュにすればマルチの楽しみ

RICOH

コンパクトの価値を進化させて、R1sデビュー。



驚きの薄さ
25mm
(グリップ部を除く)

R1s

カラー/プラチナムシルバー、クレイッシュグリーン、チタニウムブラウン メーカー希望小売価格 41,000円(税別、送料別)

★☆☆★
「コンパクトカメラ オフ ザ イヤー」アマチュアフォトグラファー誌(イギリス)
「カメラクラブ」35-カメラ記者クラブ特別賞、カメラ記者クラブ(日本)
「ベスト フィクスト レンズコンパクト1995」イギリスカメラ誌(イギリス)
「オーストラリアン コンパクトカメラ オフ ザ イヤー」
オーストラリアンカメラ誌(オーストラリア)
「ベスト ホワッツ ニュー」ポピュラーサイエンス誌(アメリカ)

R1

株式会社リコー 光学事業部 〒140 東京都品川区東品川3-32-3 TEL.03(5479)2901



写真③クリスタルプリントの例。残念ながら印刷では通常のプリントとの差が再現できない。この写真のように、光のある再現できる。この強い写真には最適なプリントである。

フィルター特集

被写体の赤色の彩度を高め、赤を鮮やかに表現するフィルターです。全体のカラーバランスを考慮し、赤系の色を強調しながら他の色への影響を最小限に抑えています。

赤色をより鮮やかに、深みのある赤を創り出す赤色強調フィルター
ケンコー レッドエンハンサー



フィルターなし



ケンコーレッドエンハンサー使用



ただいま、キタムラ特別価格で販売中!

高感度カラーフィルムの普及により、蛍光灯下で撮影する機会が増えてきました。このフィルターは、蛍光灯特有の輝線スペクトルの影響で、色調が緑色っぽくなってしまうのを補正するためのものです。



フィルターなし



MC FL-Wフィルター使用

白色蛍光灯下の撮影で緑がかる色調を補正する
MC FL-W フィルター



ただいま、キタムラ特別価格で販売中!

光の表面反射を除去するフィルターで、ショーウィンドーや水面、ガラス張りの額などの反射除去効果があります。また風景撮影における空の青、樹葉や山肌、建物などの色彩が非常に鮮やかに描写され、色彩コントラスト効果が得られます。

色彩コントラストを高めたり、邪魔な表面反射を除去する
PL(偏光)フィルター



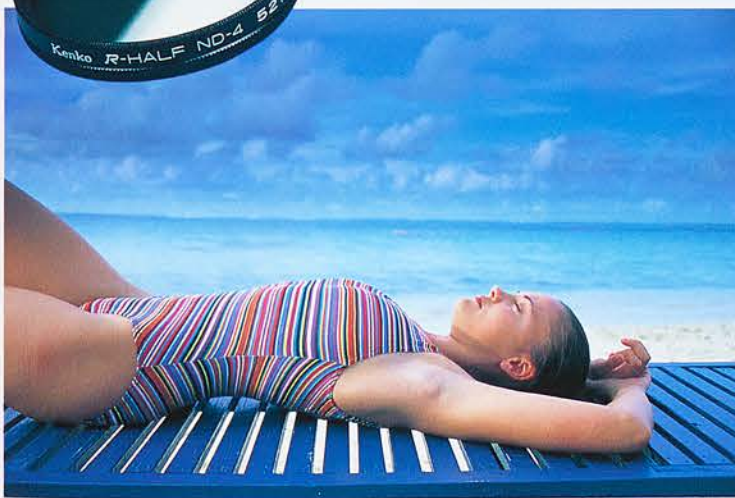
PLフィルター使用



フィルターなし

フィルターの半分は2絞り分露出を調整するND4、残り半分は透明で、画面の明暗のバランスを整える撮影(スカイコントロール等)に最適です。

画面の明暗バランスをコントロール
R-ハーフND4 フィルター



R-ハーフND4フィルター使用

可視光やレンズの色特性に全く影響を与えず、紫外線をカットします。レンズ保護用としても最適な完全無色透明フィルターです。

スーパーマルチコートで驚異の透過率99%を実現
L37 Super PRO



L37 Super PRO使用



水滴状の微小な突起を多数施したフィルターで、軟調効果のある中にもピントの芯のある描写が得られます。弱い効果の(A)タイプと強い効果の(B)タイプがあります。

やわらかな描写の中にピントの芯がある
ソフトンII



フィルターなし



ソフトンII使用



フォギー使用



霧の中で撮影したようなムードを演出する
フォギー

霧の中で撮影したようなムードを演出します。弱い効果の(A)タイプと強い効果の(B)タイプが用意されています。



フィルターなし

あたかも霧の中で撮影したような、ファンタスティックなムード

海や山、特に雪山などの撮影で強い光の影響を光量調節する
プロND4 フィルター

プロND4フィルター使用



光の量を2絞り分減少させるフィルターで、高感度フィルムの感度抑制に有効

完全保存版

フィルター特集



MCクローズアップレンズ使用



フィルターなし



接写の倍率を高めて迫力ある写真が楽しめるMCクローズアップレンズ。草花や昆虫などの世界を近接撮影したり、絵画や書物などの接写に大変便利なクローズアップレンズ。カメラのレンズに取り付けるだけで、手軽に接写が楽しめます。2枚、3枚と重ねることによって、さらに大きな倍率で迫力ある写真が簡単に楽しめます。

接写の倍率を高めて迫力ある写真が楽しめるMCクローズアップレンズ

MARUMI マルミフィルター



フィルターなし



サーキュラーPLフィルター使用

通常のPLフィルターではカバーできない機種に適したサーキュラーPL。AFカメラやハイフミラー内蔵カメラ、TTL方式の8mmカメラ、光学像式ファインダーのビデオカメラ等に通常のPLフィルターを使用すると、ピントや露出に誤差が生じます。円偏光のサーキュラーPLフィルターは、これを防ぐためのものです。

通常のPLフィルターではカバーできない機種に適したサーキュラーPL

赤の美しさを活かして鮮やかで迫力ある写真にレッドハンサー

赤い色を特に鮮やかに表現したい時に適したフィルター。夕日や紅葉などの風景写真の撮影には特別な効果があります。

レッドハンサー使用



フィルターなし

深みのある落ち着いたクラシックモードの写真にセピアフィルター



セピアフィルター使用

新しく開発された、クラシックモードの画面を演出するフィルター。従来用いられていたアンバー系フィルターに比べ、より深みのある落ち着いた雰囲気を醸し出します。



全28種214アイテム。



ハクバ フィルター

好評発売中

ハクバ写真産業株式会社

マルミフィルター 写真を演出する



MARUMI cokin FILTER

フランス・コッキンフィルター総輸入元
マルミ光機株式会社

十文字から一直線まであらゆる角度の光線を自由に表現することができる、ユニークなクロスフィルターです。



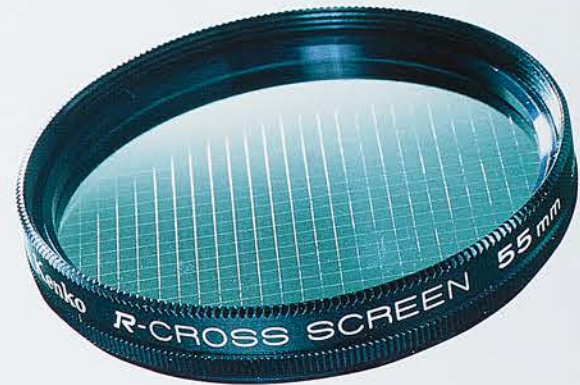
クロスが角度が変幻自在
輝きをアクティブに演出できる
バリクロス



バリクロス使用

透明な光学ガラスの表面に細い線状の彫刻が施してあるフィルターで、画面内の輝いている箇所を中心として、4本の非常に美しい光のフレアを表現することができます。

光輝を中心に4本のクロスを演出する
R-クロススクリーン



Kenko

日本のフィルターメーカーの草分け
ケンコー

(株)ケンコーは1957年に、カメラレンズのフィルターを手がける日本で初めてのメーカーとして創立し、現在ではフィルター以外にも写真用品を中心とした幅広い製品を扱っています。

アマチュアからプロまで、ほとんどのカメラマンがフィルターを使うようになった今、ケンコーのフィルター製品は、丸型が約80種類、四角型が約100種類の豊富なバリエーションを擁し、スチールカメラだけでなくビデオカメラなどにも広く使用されています。

また、製品の素材と検査には万全の注意を払い、特にPL・NDなどのアイテムにおいて、その精度・品質を年々高めています。

最近ではネイチャーフォト・風景写真のブームにより特殊効果フィルターなどのニーズが高く、これに対応した製品の開発に努めるとともに、イギリスの名門メーカーLeeのフィルターを輸入販売するなど、きめ細かいラインアップの充実を図っています。

映像を多彩に演出する
機能的なフィルターシステム
ケンコー SQフィルターシリーズ



専用マルチホルダーにアダプターリングを使用して撮影レンズに装着し、フィルターをセットするだけの簡単なシステムです。フィルターの交換はワンタッチでスピーディ。アダプターリングは35mmから中型、大型カメラ、ビデオなどあらゆるカメラに装着できるように各種サイズを用意しています。



SQ12レッド使用



(CONCEPT: TOTAL BALANCE)

「使いやすさ」の意味は、人によってそれぞれ違う。
それがαの結論です。

それは、スムーズで、しかも素早い操作のための操作ボタンの独立した確かな配置。ボタンやダイヤルの位置や機能を一度覚えれば、ファインダーを覗いたまま、スムーズに、しかも素早く操作できる。それがα-707siの最大の特徴です。撮影に必要な情報はすべてファインダー内に表示され、各操作部材も機能的にレイアウト。さらに、使用頻度の高い機能のボタン類を可能な限り独立させることで、シンプルで快適な操作を実現しています。使い込むほどに誰もが実感するこち好さ。それは、高いポテンシャルと使いやすさの両立をめざした、私たちミノルタからのひとつの回答です。



まっすぐな好性能。
α-707si

●ワイドフォーカスエリア(ローカルフォーカスエリア選択可能) ●マルチ動体予測フォーカス制御 ●AF連動3コマ/秒連続撮影 ●AF制御自動切り替え ●高感度AF(EV-1~19(ISO100)) ●AF優先/レリーズ優先切り替え可能 ●AF補助光機能 ●Pモード(シーン自動判別プログラム) ●Aモード・Sモード・マニュアル ●14分割ハニカムパターン測光・スポット測光・中央重点的平均測光 ●スポットAEL機能 ●シャッター速度1/8000秒~30秒 ●B ●フラッシュ内蔵(ガイドナンバー12(ISO100・m)・手動アップ/ダウン) ●赤目軽減機能 ●ハイスピードシクロ(5400HS使用時) ●ワイヤレスフラッシュ(5400HS/xi-3500xi使用時) ●登録機能 ●測光インジケータ ●露出補正 ●フラッシュ調光補正 ●プレビュー機構 ●2コマ多重露光機能 ●ブラケット機能 ●ハイイボイントファインダー ●ファインアキュートマウント焦点板 ●フィルム感度変更記憶機能 ●パンタ途中切り替え可能 ●アキスタートシステム(ON/OFF可能) ●インテリジェントカード使用可能 ●大きさ:153.5(幅)×98.0(高さ)×71.5(奥行)mm ●重量:605g(電池別) ●希望小売価格(税別) ●α-707si AFズーム24-85mm F3.5-4.5付……………¥147,000 ●α-707si ボディ……………¥95,000 ●AFズーム24-85mm F3.5-4.5……………¥52,000(フード付) ●ケース¥2,000(別販売) ●AFマウントズーム100-300mm F4.5-5.6 ¥70,000(フード・ケース付) ●プログラムフラッシュ5400HS ¥47,000(ケース・ミニスタンド付) ●縦位置コントロールグリップVC-700 ¥18,000 ●ホールディングストラップHS-700 ¥2,000

■α-siシリーズを詳しく紹介したカタログを差し上げます。官製はがき(住所・氏名・年齢・機種名を記入の上、右記までお送りください。〒108 東京都港区高輪2-19-13(NS高輪ビル) ミノルタ株式会社 宣伝部 写友係 ●α-siシリーズのお問い合わせフリーダイヤル ☎0120-493-881 ●お客様商品相談窓口 ☎(03)5423-7555 ☎(06)271-2641

読者のページ

写友缶ふれあい広場

読者の皆様から寄せられた、お便り&お写真をご紹介します。

初めての水着です。ワタシ、色っぽいかしら? 早く、プールに行きたいヨ
大阪府豊屋川市 佐藤 浩二様



広島在住の能登様から、地元広島県の大崎上島の夜景の写真を送っていただきました。大崎上島では、島ならではの海の写真も撮れるそうです。
特派員 能登 寛明様 広島県豊田郡



私達が作ったクッキーです。食べてね!! 上手に出来たかな?

ママとパパのジャンパー、大きくてあったかいよ!!

出口 晶子様
長崎県佐世保市

お便り&傑作写真 大募集!

このコーナーでは、皆様からの楽しいお便りや、傑作写真にコメントを添えた投稿を募集しています。掲載させていただいた方には粗品を進呈いたします。ハガキ・封書での送り先は、〒222 横浜市港北区新横浜2-4-1 カメラのキタムラ「写友缶ふれあい広場」係まで。
お便りは、ファックス番号045-476-0778でも受け付けております。また、お近くの「カメラのキタムラ」に直接お持ちいただいても結構ですので、読者の皆様からのたくさんのご応募をお待ちしています。

編集後記

毎回、著名な写真家の先生にご登壇いただき、インタビュー記事と作品紹介で構成している特集ページが、おかげ様で大好評につき、今号よりボリュームアップいたしました。取り上げる作品の点数を増やすとともに、1点ごとの扱いも大きくなりましたので、高田誠三先生による風景写真も、より雄大なスケールでお楽しみいただけたことと思います。そして今回はもうひとつの特集ページとして、「フィルター特集」を5ページにわたって掲載いたしました。風景撮影の多くなる夏に向けて、皆さんも、より効果的にフィルターを活用していただければと思います。さて、次号は9月1日発行となる秋号。特集テーマは、日本の秋の上品なあでやかさを象徴する「雅」です。どうぞご期待ください。

プレゼントが当たる!クロスワードパズル

1	ウ		3	ネ
5	イ		6	ラ
		7	ロ	タ
8	イ	9	オ	シ
10	イ		11	ツ
				カ

〈ヨコのカギ〉

- 家でビデオを見て過ごすのは○○○ポテト族。
- お姉さんのこと。
- 水道の発達により、ほとんど見かけなくなりました。
- 現在、日本最速といわれる千葉ロッテの投手。
- 記憶が怪しいことを○○○覚えといいます。
- 椿やつむぎで有名な伊豆七島の島。
- 夜もまだ浅いうちをこういいます。
- 貝殻を住みかとする小さな生物。

【お詫言と訂正】前号のクロスワードパズル(タテのカギ)の1で、「京都の地名。産の産地として有名です。」「京都の地名」とあったのは、「兵庫の地名」の誤りでした。応募された皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫言し、ここに訂正させていただきます。

答え=

○○○○○
(ヒント:梅雨時や、夏の夕立の時は…)

問題:クロスワードに答えて、A~Eのマスをつなぐとある言葉になります。その答えとあなたの住所・氏名・年齢・職業をハガキに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で30名の方に、粗品を進呈いたします。
あて先:〒222 横浜市港北区新横浜2-4-1 カメラのキタムラ 写友缶「クロスワードパズル」係
締め切り:8月31日(当日消印有効)

※前号の正解は「ハナマツリ」でした。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

リアラを超える。そこに、リアラエース。



New Realal!

あらゆる性能をレベルアップ。さらなる高画質を描く、リアラエース。

- ISO100クラスで世界最高水準の粒状性を、さらに追求。従来にくらべ約1/3の粒子体積を実現。
- 忠実な色再現性にますます磨きをかけ、シャープネスや階調描写もレベルアップ。
- アンダー側のラチチュードを広げ、より幅広い撮影条件をカバー。
- スタンダードフィルム「スーパーG エース400」と同条件のプリンター適性をもたせることにより、リアラエースのフィルム性能を最大限に引き出すことが可能となりました。
- 120/220ロールフィルム新発売。



FUJICOLOR
REALAL
ACE